



©2005 石塚真一小学館

第 283 号(令和4年(2022 年)10 月 27 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

死亡率は夏山の 2 倍以上！データで見る紅葉登山に潜むリスク

紅葉シーズン終盤。日本アルプスや八ヶ岳連峰など長野県の山へ出かける人も多いのではないでしょうか。長野県山岳遭難防止対策協会が発信している島崎三步の「山岳通信」には、多くの遭難事例が掲載。けれどもこれらの遭難を他人事のように考えていませんか。

実は紅葉シーズンの死亡率は夏山シーズンの 2 倍以上(キノコ採り含む)、あなたがその当事者になるかも知れません。

<https://yamahack.com/5433> (YAMAHACK 掲載)

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>
を確認し万全の準備で入山を！

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

10 月 4 週は、7 件の遭難が発生し、うち 4 件が疲労や病気による遭難でした。

県内各地で紅葉が見頃を迎えています、「ちょっと紅葉を見に」というような観光の延長で入山していませんか？登山は、体に負荷のかかるスポーツです。

十分な下調べと自身の体力と経験に見合った登山計画を立て、無理のない行動をお願いします。

そのほかに、「登山に行った家族と連絡が取れない」「携帯電話を機内モードにして連絡が取れなかった」等遭難には至らない連絡漏れ等による問い合わせも散見されました。

登山に行かれる際は、帰りを待つ家族や職場等には必ず登山計画を伝え、登山中はこまめに休憩を取り、水分や栄養を補給し、安全登山を心掛けましょう。

例年この時期には、日帰りの予定でも行動中に日没となり、ヘッドライトがなく道に迷い行動不能になる遭難が発生しています。何かしらのアクシデントに備えて、ヘッドライトやビバーク装備、防寒具等は必ず携行しましょう。

北アルプス等の山域では、山小屋が徐々に営業を終了しています。事前に山小屋の営業期間等を確認しましょう。

発生状況

日付	場所	性別	年齢	態様	死傷別	概要
10 月 18 日	八ヶ岳連峰 北横岳	男	72	無事救出	発病	3 人パーティでロープウェイ山頂駅から北横岳に向けて登山中、発病

18 日、3 人パーティで、八ヶ岳連峰北横岳に入山した男性(72 歳)が、登山中に体調不良により行動不能となる山岳遭難が発生し、諏訪広域消防特別救助隊員が出動して救助しました。

10月20日	京ヶ倉	男	78	負傷	滑落	単独で京ヶ倉から下山中、滑落、負傷
20日、単独で東筑摩郡生坂村の京ヶ倉に入山した男性(78歳)が、下山中に滑落して負傷する山岳遭難が発生し、松本広域消防署員が出動して救助しました。						
10月21日	金峰山	女	64	無事救出	疲労	5人パーティで金峰山から下山中、疲労により行動不能
21日、5人パーティで金峰山に入山した女性(64歳)が、下山中に体調不良で行動不能となる山岳遭難が発生し、佐久広域連合消防本部救助隊員、佐久警察署員が出動し、救助しました。						
10月22日	八ヶ岳連峰 雨池山	女	59	無事救出	疲労	2人パーティで雨池から雨池峠に向けて登山中、疲労により行動不能
22日、2人パーティで八ヶ岳連峰雨池山に入山した女性(59歳)が、雨池から雨池峠に向けて登山中に体調不良により行動不能のとなり、警察本部山岳遭難救助隊員、佐久警察署員が出動し救助しました。						
10月23日	北アルプス 前穂高岳	男	68	無事救出	疲労	単独で奥穂高岳に向けて重太郎新道を登山中、疲労により行動不能
23日、単独で上高地から入山した男性(68歳)が、北アルプス前穂高岳において、疲労により行動不能となる山岳遭難が発生し、松本警察署山岳遭難救助隊、北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動し、県警ヘリで救助しました。						
10月23日	八ヶ岳連峰 箕冠山	女	71	負傷	転倒	22人のツアー登山で箕冠山から夏沢鉱泉に向けて下山中、転倒、負傷
23日、22人パーティで八ヶ岳連峰に入山した女性(71歳)が、箕冠山から夏沢鉱泉に向けて下山中に浮石でバランスを崩して転倒し負傷する山岳遭難が発生し、県警ヘリで救助しました。						
10月23日	小川山	女	27	負傷	転落	11人パーティで廻り目平付近でロッククライミング中、転落、負傷
23日、11人パーティで南佐久郡の小川山において、ロッククライミングをしていた女性(27歳)が、足を滑らせて転落し負傷する山岳遭難が発生し、佐久広域消防本部救助隊員が出動し、救助しました。						

令和4年(2022年)中の山岳遭難発生状況(令和4年(2022年)1月1日～10月23日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和4年(2022年)	259	33	3	126	122	284	162
内)単独登山	86	15	2	31	38	86	48
令和3年(2021年)	241	44	2	108	105	259	154
前年同期比	+18	-11	+1	+18	+17	+25	+6
内)単独登山	-15	-8	±0	-2	-5	-15	-10

■山域別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～10月23日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	45	17.4%	7	0	27	14	48
	後立山	47	18.1%	7	0	20	26	53
	その他	29	11.2%	3	1	13	13	30
	計	121	46.7%	17	1	60	53	131
中央アルプス	17	6.6%	3	0	8	7	18	
南アルプス	6	2.3%	0	0	3	3	6	
八ヶ岳連峰	49	18.9%	4	0	28	25	57	
その他の山岳	66	25.5%	9	2	27	34	72	
計	259		33	3	126	122	284	

■態様別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～10月23日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者 計
転・滑落	67	25.9%	21	0	48	0	69
転倒	62	23.9%	0	0	62	0	62
病気	23	8.9%	7	0	0	16	23
道迷い	41	15.8%	0	0	1	52	53
落石	5	1.9%	0	0	6	0	6
雪崩	4	1.5%	2	0	2	0	4
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	30	11.6%	1	0	0	33	34
不明・他	27	10.4%	2	3	7	21	33
計	259		33	3	126	122	284

■男女別・年齢別比率(令和4年(2022年)1月1日～10月23日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	3	6	9	37 19.3%	0	0	0	1	1	14 15.2%	10	51 18.0%
20代	1	0	3	14	18		0	0	4	3	7		25	
30代	0	0	3	7	10		1	0	4	1	6		16	
40代	3	0	22	8	33	62 32.3%	0	0	9	5	14	41 44.6%	47	103 36.3%
50代	4	0	14	11	29		2	0	12	13	27		56	
60代	9	0	15	23	47	93 48.4%	2	0	11	5	18	37 40.2%	65	130 45.8%
70以上	9	2	18	17	46		2	1	8	8	19		65	
計	26	2	78	86	192		7	1	48	36	92		284	
比率	67.6%						32.4%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jpまでお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝